

ウォーターブルーケース
マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-WF

© 2010 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口にご相談する

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

↓

①電源を切る
②ソニーの相談窓口にご相談する

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

禁止

行為を指示する記号

注意

警告

下記の注意事項を守らないと、
事故により死亡や大けがの原因となります。

水中での使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う

注意を怠ると、潜水事故の原因となります。

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合

あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。

注意

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

注意

下記の注意事項を守らないと、
けがをすることがあります。

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

主な特長

- このマリンパック(以下**本機**とする)はソニーのデジタルスチルカメラ(以下**カメラ**とする)DSC-W390/W380/W360/W350/W330/W320専用です。(対象のカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。)
- お手持ちのカメラを本機に取り付けると、海辺(水中では水深40m以内)また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。
- カメラを📷(水中)または📷(水中)に設定し、本機をお使いになると、水中をきれいに撮影できます。(水中動画撮影は、DSC-W390/W380/W360/W350のみ対応で、DSC-W330/W320は対応しておりません。)

取り扱い上の注意

- フロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”の交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 40℃を超える温水の中
 - 0℃以下の場所結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- 飛行機に持ち込む場合には、付属のスペーサーを使用し本機を開けた状態にしてください。密閉状態の場合、気圧の変化で開けにくくなる場合があります。

○リングのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。
必ず確認したあとに、ご使用ください。
詳しくは、○リングメンテナンスマニュアルをお読みください。

本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ(表面のヒビなど)の原因となります。

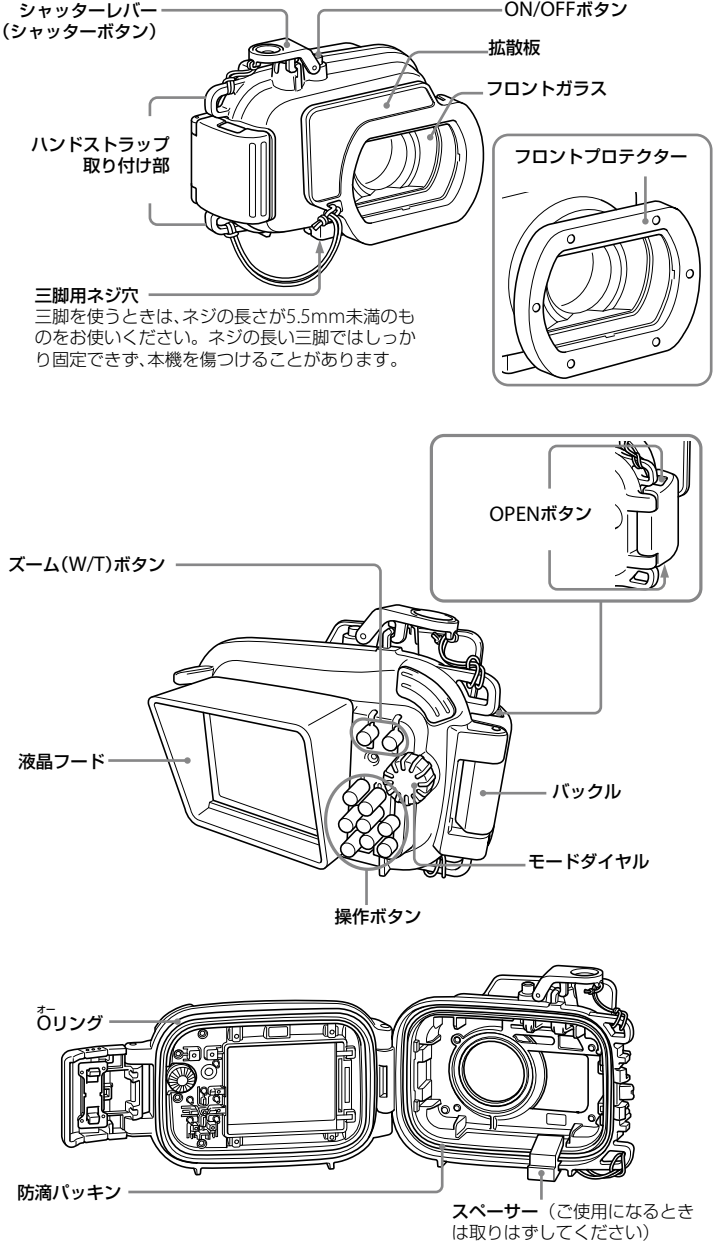
水漏れについて

万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

フロントガラスのくもり止め効果について

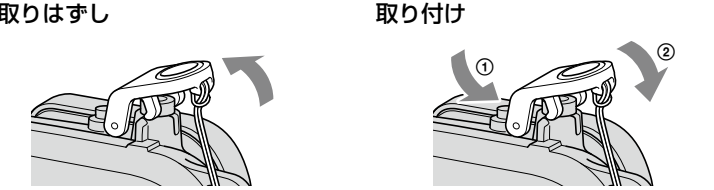
フロントガラスは、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、カメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。

各部の名前



シャッターレバーの取り付け／取りはずし

シャッターレバーは取りはずし、取り付けが可能です。好みによってお使いください。



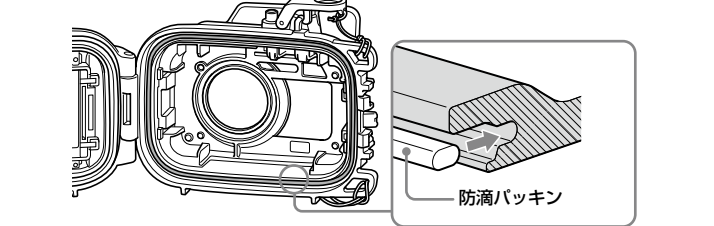
お使いになる前に必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、カメラが正常に作動するか、また本機に水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一本機の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材(カメラ、バッテリーなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

○リング／防滴パッキンについて

○リングについて
本機は○リングを使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊の○リングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
○リングの取り扱いかたが不適切だと水漏れの原因になります。

防滴パッキンについて
防滴パッキンは、本体からはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。
万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。



○リングと防滴パッキンの耐用年数
○リング
本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。
防滴パッキン
防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

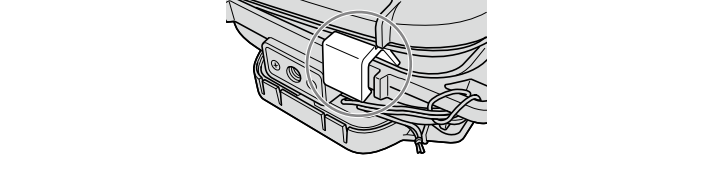
交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて
グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社社のグリスを使うと、○リングを傷め、水漏れします。

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水(水道水など)で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは
○リングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- リングにホコリがつかないようにしてください。
- リングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しょうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

別売アクセサリー

○リングキット：ACC-MP105

(パッケージ上のこのアイコンをご確認のうえお求めください。)

当製品にはシーアンドシー・サンバック株式会社製 水中アクセサリーを接続する事が可能となっています。商品の詳しい情報については、以下のHPをご参照ください。

http://www.seaandsea.co.jp/products/accessory/mpk/index.html

*○リング、グリスは下記の相談窓口でもお求めになれます。

○リング、防滴パッキン、グリスについて

ご購入はソニーの相談窓口にご相談ください。
ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。

○リング(番号3-080-065-0□)
防滴パッキン(番号3-080-066-0□)
グリス(番号3-071-370-0□)

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020

携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2511

受付時間 月～金：9:00～18:00
土日祝日：9:00～17:00

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330

携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

受付時間 月～金：9:00～20:00
土日祝日：9:00～17:00

左記番号へ相談後、
最初のガイダンスが
流れている間に、
「401」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

